



福島川で発見！ 巨大クスノキ



市文化会館ロビーに展示のクスノキ

平成8年2月、福島川の河床から化石化した巨大なクスノキ3本が発見されました。このクスノキは市文化会館ロビーと宮崎県総合博物館玄関に展示されているため、ご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。3本のクスノキの中で一番大きいものは、長さ20メートル、直径1.5メートル、重さは20トンもあり、生きていた当時は高さ30～35メートルあったと考えられています。粘土層に包まれ、覆うようにバラバラになった弥生式土器の欠片が多く含まれた砂礫層（小石と砂が混じった土）の中で見つかったため、土にパックされて保存状態がとても良く、化学分析や研究に使用されることとなり、結果、このクスノキは私たちにたくさんの発見を与えてくれました。今回は福島川で見つかったクスノキについて一緒に学んでみましょう。



福島川の河床から引き揚げられたクスノキ（平成8年）

まず分かったことはクスノキの年齢と当時の様子です。「年輪計測」の結果、樹齢は約500年ということ、さらにいうと温暖な気候を好む樹木にしては年輪の間隔が狭く、このクスノキが生きていた時代の串間は今よりも寒かったということが判明しました。

では、いつこのクスノキが埋もれることになったのかというと、「¹⁴C年代測定」という化学分析によれば、今から約2400年前の縄文時代の終わりから弥生時代の頃に倒れて枯れてしまったものと結果が出ました。そして土の堆積状況から、河川の氾濫や土石流によって倒れたものの、生きていた場所からそれほど動いていないということが分かりました。

クスノキの空洞の中からはネブトクワガタという小型のクワガタムシやガムシ科、コガネムシ科も発見されました。「¹⁴C年代測定」の結果、ネブトクワガタもクスノキと同じ時代を生きていたことが明らかになりました。

生涯学習課文化係 ☎55-1163



発見場所

これまでの研究で分かっていた南九州の環境は、縄文時代は暖かい気候が続いたために常緑樹の森が広がっていましたが、約3000年前に地球は一時期寒冷化し、さらに海面が低下したことにより、海岸が後退して平野が広がりました。この気候の変化がもたらしたのが、クスノキなど常緑樹の山地から平地への進出です。では当時の串間市はどうだったのかというと、今回見つかったクスノキによって、福島川周辺にも巨大なクスノキが生い茂る森が広がっていたということが分かったのです。市内で見つかった縄文時代～弥生時代の遺跡では、南方の下弓田遺跡（縄文時代後期～平安時代）や市民病院周辺の唐人町池ヶ迫遺跡（縄文時代晩期～古墳時代）があり、土器や石皿（食物を練ったりつぶしたりする調理道具）、石鏃（矢じり）などが出土していることから、私たちの先祖が自然豊かな環境の中で生活を営んでいたことが想像できます。

今回ご紹介したクスノキは、市文化会館ロビー内において、年輪や内部がどのようにになっているかを見ることができ、オガクズが入ったケースでは香りをほのかに感じることができます。2000年前のクスノキの雄大さを体感し私たちの先祖に想いをはせてみてはいかがでしょうか。

¹⁴C年代測定（放射性炭素年代測定）とは：

1947年シカゴ大学のリビーによって開発された化学的な年代測定法。空気中には放射能を持つ極めて微量の炭素が含まれているのですが、約5600年ごとに放射能が半減されるという原理に基づいて、木材、骨、貝などの炭素を含むものが遺体になると、空気中からの炭素の補給は停止し減り続けるということから、この減量を測定することにより遺体となった時点の年代を測定することができます。

参考文献

齊藤忠2003「日本考古学用語小辞典」学生社
長岡信治ほか1998「宮崎県串間市、福島川下流域の沖積層中の埋没クスノキの年輪とそのAMS¹⁴C年代」『名古屋大学加速器質量分析研究業績報告書（IX）』名古屋大学年代測定資料研究センター、pp260-271

新型コロナウイルス ワクチン接種情報

ワクチン接種は
予約が必要です。
※電話、LINEで予約をされて
いない方は接種できません

コロナワクチンの接種は3月31日まで

※令和4年12月1日現在

新型コロナワクチンを無料で接種できる期間は、**令和5年3月31日まで**です。

接種をご希望の方は、お早めのご予約・接種をご検討ください。

現在の接種率はこちら（市公式サイト）



12月14日現在、12歳以上の37.7% (5,860名)の方がオミクロン株対応ワクチンを接種済みです。

乳幼児用接種は1月13日までに！

生後6カ月～4歳のお子さんは、3回ワクチンを接種する必要があります。接種期間内（令和5年3月31日まで）に接種を完了するには、**1月13日まで**に1回目の接種を終える必要があります。

なお、コロナワクチンと他の予防接種とは前後2週間の間隔が必要です。接種を希望される方は、かかりつけ医にご相談ください。

【1月10日に1回目を接種した場合】



オミクロン株対応ワクチンは、 1人1回接種できます

現在、3～5回目の接種で使用しているワクチンは、オミクロン株対応ワクチンです。このワクチンは1人1回のみ接種することになっていますので、3・4回目にオミクロン株対応ワクチンを接種した方は、これ以降の接種はありません。

接種したワクチンの種類が分からない場合は、予防接種済証（接種の際に使用した白い紙）のロットシールをご確認ください。なお、串間市内の医療機関では、10月1日以降オミクロン株対応ワクチンを使用しているため、この期間以降に市内で接種していれば、オミクロン株対応ワクチンを接種しています。

【オミクロン株対応ワクチンのロットシール】

3～5回目の予防接種済証にこれらのシールが貼られていたら、オミクロン株対応ワクチンを接種しています。

○ ファイザー（シールの左端が灰色）



○ モデルナ（シールの下部が黄緑または灰色）



ワクチン接種に関する
問い合わせ・予約先

串間市新型コロナウイルスワクチン接種対策室（市総合保健福祉センター内）〒888-0001 串間市大字西方9365-8

☎72-5678

FAX 72-7100【月～金曜：午前8時半～午後5時15分】
※予約は午前9時～午後4時